

図書だより NO.5



読書の秋です

やっと朝晩が涼しくなり、過ごしやすくなってきました。これからは、読書にぴったりの季節になります。短い時間でも読書をする習慣を付けるとよいですね。

各教室に置いてあるチャレンジブックは、各学年でぜひ読んでほしい本ばかりです。先日の校内放送でもお知らせしたように、完読した人が増えてきました。現在、24名で、約10パーセントの児童が読破しています。感想もしっかりと書けています。3月までに全員が読破できるようにがんばってほしいです。

学校の図書室にも新しい本が入りました。真新しい本を手にとって、うれしそうにページをめくる児童の姿が見られます。これから運動会の練習で忙しくなりますが、そんなときこそ、読書でリフレッシュはいかがでしょうか。

9月は、3冊まで貸し出しできます。9月29日までに返却してください。10月3日から10月13日までは、貸し出しができません。(学校図書システム入替のためです。)



～ 秋に読みたくなる本です。～

1・2ねんせいむき

3・4ねんせいむき

5・6ねんせいむき



「もりのかくれんぼう」
さく: すえよし
あきこ
かいせいしゃ
偕成社



「どんぐりと山猫」
さく: みやざわけんじ
宮沢賢治
ミキハウス



「光の旅 かげの旅」
さく: アン・ジョナス
アン・ジョナス
評論社

おにいちゃんとかうえんであそんだかえりみち、けいこがふしぎなできごとにあったおはなしです。ふしぎなこととはとは・・・

ある土曜日のゆうがた一郎は一枚の「おかしなはがき」でよびだされて、どんぐりたちに判決を出すことになります。一郎の思っていた判決とは？

明け方家を出発して夜までの風情を表しています。一通り読んで本を逆さにしてめくるとあら不思議今までのストーリーのイメージと違ったストーリーに変わってしまいます。まさに芸術の秋を感じてみましょう。

